

学校名

QuizKnock

×

氏名

年

組

番

QuizKnockと知る

年 金 授 業



 厚生労働省

QuizKnock

厚生労働省

QuizKnock

学校名

×

氏名

年

組

番



QuizKnockと知る年金授業



1 時間目

公的年金ってどんな制度？

 厚生労働省

QuizKnock

厚生労働省

(1) 公的年金ってどんな制度？

公的年金制度について知って
将来活用できるようになろう！

1 年金の「年」って何？

ワーク



ワーク 1-1 年金クイズ！

動画を見て、クイズに答えよう！

問題！/ 年金の「年」って何？

A 年齢

B 年配

C 1年

答え

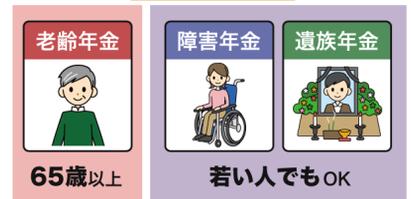
年金とは高齢者が受け取るもの、というイメージがあるかもしれませんが、それだけではありません。「**公的年金**」には、高齢者が対象の「**老齢年金**」のほか、障がいがある人が対象の「**障害年金**」、経済的な支えを失った家族が対象の「**遺族年金**」があります。

2 日本の年金制度って？

日本の**公的年金制度**は、①20歳以上60歳未満の全ての人
が加入する**国民年金**と、②会社員や公務員などが加入する
厚生年金保険があります。

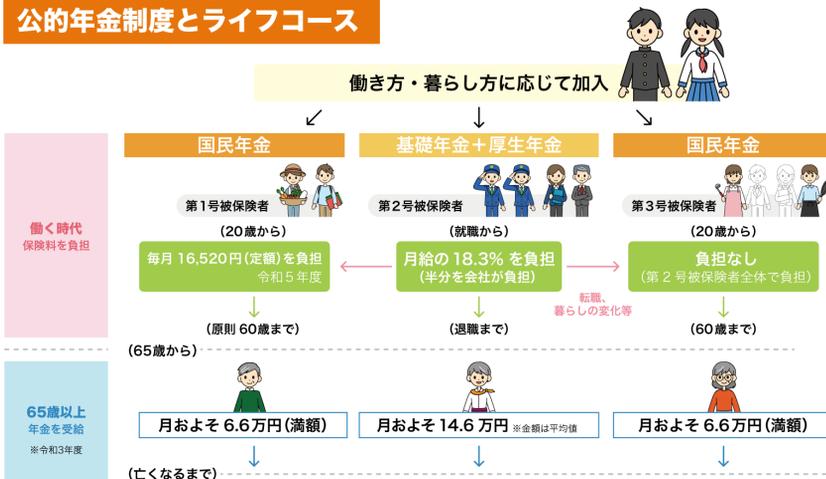
年金を受け取る制度にもいろいろあります。国民年金から支給される年金は「**老齢基礎年金**」「**障害基礎年金**」「**遺族基礎年金**」と呼び、厚生年金保険から支給される年金は「**老齢厚生年金**」「**障害厚生年金**」「**遺族厚生年金**」と呼びます。

年金の種類



3 公的年金には誰がいつ加入するの？

公的年金制度とライフコース



①被保険者…加入者。サービスや補償を受ける人。

②納付…国や市町村などに保険料や税金を支払うこと。

日本に住んでいる20歳以上60歳未満の人は、国民年金に加入することが義務付けられています。国民年金の被保険者は3種類に分けられ、それぞれ加入手続きや保険料の納付方法が異なります。

「**第1号被保険者**」はフリーランスで働く人や学生などが当てはまります。毎月“定額”の保険料を自分で納める必要があります。

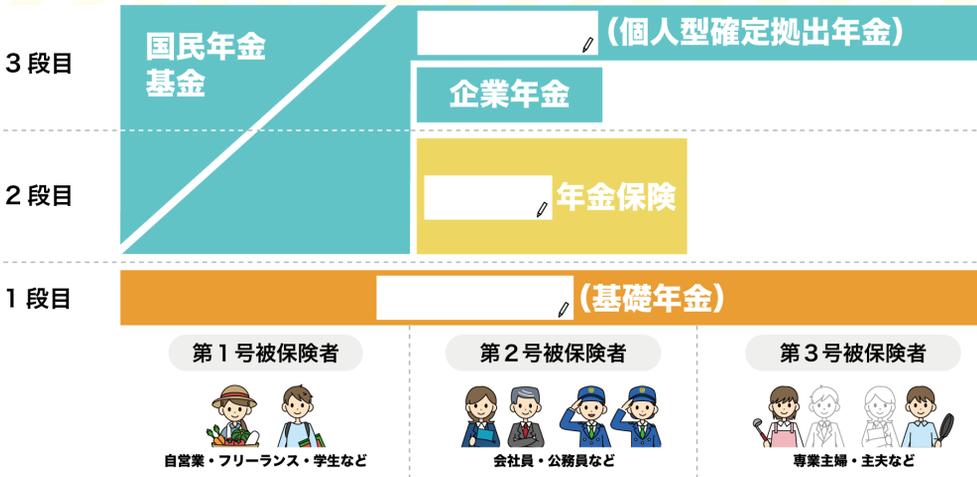
「**第2号被保険者**」は会社員や公務員などが当てはまります。第2号被保険者は、国民年金に加え、厚生年金保険にも加入します。保険料は毎月“定率”なので、納付額は人により異なります。ただし、全額を自分で納付する必要はありません。被保険者と事業主(被保険者の勤務先)が、半額ずつ負担します。

「**第3号被保険者**」は第2号被保険者に扶養されている配偶者が当てはまります。厚生年金制度全体で保険料を負担しているため、個人で保険料を納付する必要はありません。



ワーク 1-2 年金制度をまとめよう！

動画を見て、白い四角に書き込もう

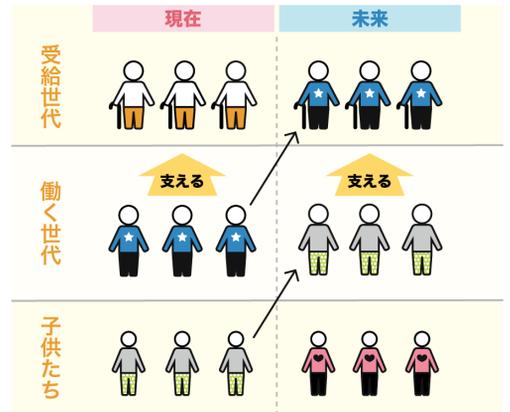


動画を見て、3種類の年金について理解しよう。

4 公的年金は、なぜ**一生涯の保障**をすることができるの？

将来への不安から、若いときに**過剰な貯蓄**をしようとすると、今使えるお金が少なくなってしまいます。また、貯蓄をしても、将来それを使い切ってしまう可能性もあります。何歳まで生きるかは、誰にもわかりません。そのため、日本の公的年金制度は**積立方式**ではなく、**賦課方式**を基本としています。**賦課方式**とは、年金支給に必要なお金を、その時代の働く世代が納めた保険料から用意する仕組みです。働く世代から年金受給世代への仕送りをイメージするとわかりやすいでしょう。この仕組みによって、公的年金は**終身**で(亡くなるまで) **受給**できるようになっています。

賦課方式のイメージ



- ③ 扶養…生活を共にし、助けて養うこと。
- ④ 配偶者…結婚している相手。
- ⑤ 受給…年金などを受けること。

そのため、働きながら過剰な貯蓄ちよちくをする必要がなくなるうえ、老後に生活資金こがなくなるといふ事態に備えることができます。賦課方式ふかほうしきの採用により、世代を超え社会全体で支え合う仕組みが成り立ち、一生涯いっしょうがいの保障ほしょうをすることができるのです。

5 まとめ

公的年金こうてきねんきんは国の社会保障制度しゃかいほしょうせいどの一つとして、社会全体で高齢の方や障がいのある方、経済的な支えを失った遺族の方の生活を支える制度です。社会保障制度を維持していくために、国民一人ひとりが社会保障の担い手であるといふ当事者意識とうじしゃいしきを持ち、暮らしていくことが大切です。

QuizKnockと知る

年金授業



 厚生労働省

QuizKnock

QuizKnock

学校名

×

氏名

年

組

番



QuizKnockと知る年金授業



2 時間目

ライフプランと年金制度

 厚生労働省

QuizKnock

厚生労働省

(2) ライフプランと年金制度

将来に備えるため、今できることを考えよう！

1 「人生のリスク」に備えるって？

人生には、さまざまな**リスク**があります。年をとって働くことができなくなった、思いがけない事故や病気で障がいを負ってしまった、一家の大黒柱が亡くなってしまった……。いつそのような状況になるかは、予測できません。こうした「**人生のリスク**」に全ての人

が備えられるよう、公的年金は国が運営しています。
公的年金は、**終身**で必要な期間に応じて年金を受け取る仕組みです。これは貯蓄ではできないことで、社会全体で支え合いながらさまざまなリスクに備えています。

「わたしと年金」で検索！ **コラム**

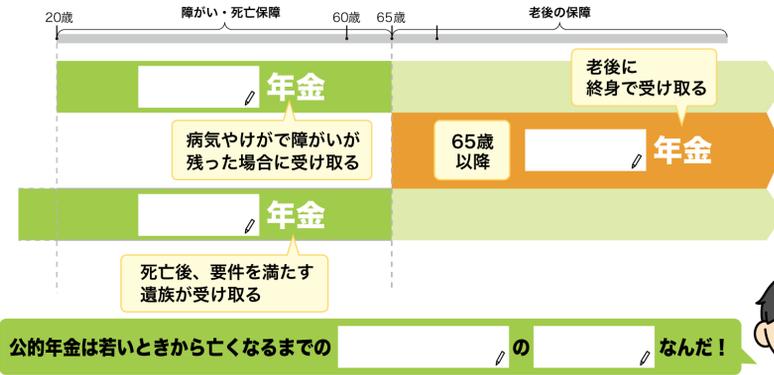
障害年金や遺族年金は意外と身近にある？高校生が執筆した「わたしと年金」エッセイを読んでみよう。

ワーク

ワーク 2-1 働けなくなるリスクについて考えてみよう！

1 白い四角に書き込もう

2 どんな働けなくなるリスクがあるか考えてみよう



働けなくなるリスクって…？



「**第1号被保険者**」のうち、やむを得ない理由で保険料を納めることが難しい人に対して、保険料の納付を一時的に**猶予**したり**免除**したりする制度があります。猶予・免除された期間は、どちらも**受給資格期間**に数えられますが、受け取れる年金額は、保険料を全額納付した場合と比べて少なくなります。猶予・免除された期間の保険料を後から納めると、年金額に反映されるようになります。

- ① 猶予…保険料の納付期限を先延ばしにすること。
- ② 免除…保険料の全部または一部を、納付しなくてよいとすること。
- ③ 受給資格期間…年金を受け取るために必要な、年金制度への加入期間。一定期間より少ないと年金を受け取れない。

【学生納付特例制度】

20歳以上で大学などに在学しており、本人の所得が一定以下の場合、在学中の保険料の納付猶予を申請することができます。



【納付猶予制度】

20歳以上 50歳未満で本人と配偶者の前年の所得が一定以下の場合、保険料の納付猶予を申請することができます。



【保険料免除制度】

本人世帯主・配偶者の前年の所得が一定以下の場合、保険料の免除を申請することができます。免除は全額・4分の3・半額・4分の1の4種類があり、所得に応じて利用できる種類が異なります。



【産前産後期間の保険料免除制度】

出産予定日の前月から4か月間の国民年金保険料が免除されます。他の免除制度とは異なり、この免除期間中の保険料を後から納める必要はなく、免除期間分の年金額が少なくなることもありません。



2 将来受け取れる年金額ってどれくらい？



将来どのくらいの年金がもらえるのだろう？
予想しながら動画を見よう。



ワーク

ワーク 2-2 公的年金シミュレーターを使ってみよう！

公的年金シミュレーター

<https://nenkin-shisan.mhlw.go.jp/>

公的年金シミュレーターを使って、将来もらえる年金額をイメージしよう。

1. 生年月日を入力する。

2. 働き方・暮らし方を選択し、加入期間を入力する。
(付加納付の有無の欄が出てきた場合は、今回は「無」を選択する。)
全部できたら「試算する」ボタンを押す。



3. 年金額の試算結果が表示される。

Aさんのパターン

20歳からフリーランスとして働き始め、59歳まで国民年金に加入したケース。



1 受給開始年齢を65歳にしたとき、1年にいくらずつ受給できる？

2 Aさんは受給開始年齢を70歳に遅らせた。このとき、70～74歳の5年間で受け取れる金額はいくら？

Bさんのパターン

20歳から働き始め、64歳まで厚生年金保険に加入したケース。
※年収450万円（令和4年分 民間給与実態統計調査の平均給与）



1 受給開始年齢を65歳にしたとき、1年にいくらずつ受給できる？

2 年収450万円で69歳まで働いて、70歳から受給を始めたとき、1年あたりの受給額はいくらになる？

3 20～40歳の年収は450万円だったが、41～64歳では年収600万円に上がった。このとき、65歳から受給を始めると、1年あたりの受給額は1に比べていくらずつ高くなる？

公的年金とは別の制度として「**私的年金**」というものがあります。私的年金は、公的年金に上乗せして給付を受けられる年金です。自分が働く会社で加入する**企業年金**や、自分で選んで加入する**個人年金**（国民年金基金やiDeCo）があります。老後の暮らしをより豊かにするための制度です。

これら2つの年金をどのように組み合わせていくかで、将来受け取れる金額が変わります。



ライフプランによって、年金受給額がどのように変わるのかを理解しよう。



ワーク 2-3 資産運用シミュレーションを使ってみよう！

資産運用シミュレーションを使って、「運用」をするとどれくらいお金が増えるのかを体験してみよう。



資産運用シミュレーション

https://www.fsa.go.jp/policy/nisa2/moneyplan_sim/index.html

資産運用シミュレーション

将来いくらになる？
毎月いくら積立てる？
何年間積み立てる？

毎月の積立金額 万円
想定利回り（年率） %
積立期間 年

計算する

最終積立金額
6,987,071円

①毎月の積立金額：

1ヶ月で積み立てる金額。

毎月同じ金額だけ積立てを行う。

②想定利回り：

資産が1年あたりどれくらい増えたのかをパーセントで表したものを。

③積立期間：

①の金額で積立てを行う期間。

Cさんのパターン

35歳から私的年金のiDeCoに加入し、毎月1万円を積み立て、年利3%で資産運用を行った。

1 2 それぞれの場合で、最終積立金額はいくらになる？（どちらも万の位を四捨五入して解答）



1

30年間運用したとき。

2

20年間で積立てをやめたとき。

4 まとめ

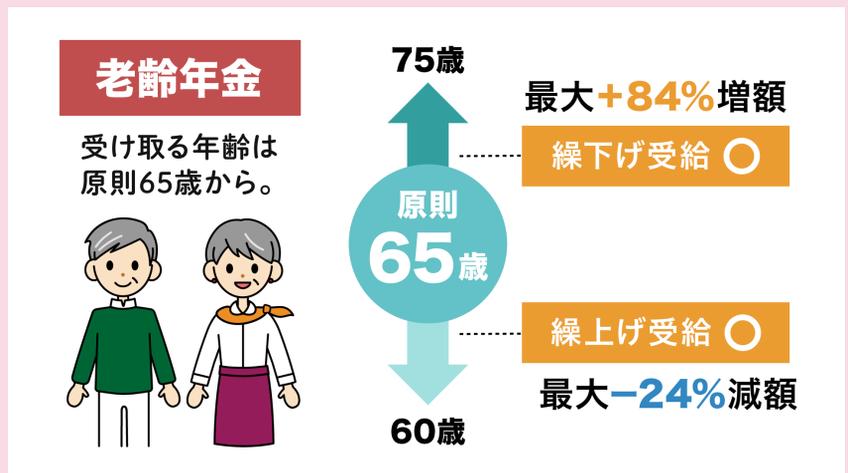
将来に備えるために、今から何ができるのかを考えておきましょう。例えば、加入する公的年金制度は働き方ごとに違うため、それぞれの働き方でどれくらいの年金を受給できるかをシミュレーションしておくことが大切です。

また、就職や転職といった人生の大事な区切りごとに、公的年金の加入状況を確認し、私的年金をどのように活用できるかを考えてみるとよいでしょう。私的年金の積み立て方によって老後の生活が大きく変わることを知っておくと、今から取り組むべきことを考える助けになります。

コラム

老齢年金の繰下げ受給と繰上げ受給

老後の所得状況や働き方は個人によって異なります。このことを踏まえて、老齢基礎年金や老齢厚生年金には受給開始時期を選ぶことができる仕組みがあります。具体的には、老齢基礎年金や老齢厚生年金を受け取り始める年齢は原則65歳ですが、65歳で受け取らずに66歳以降75歳までの間で繰り下げることによって、増額した年金を受け取ることができます（繰下げ受給）。65歳より後に受給を開始した場合には、年金額は増額（最大+84%）され、受給開始後はその増額率は生涯変わりません。一方、65歳より早く受給を開始すること（繰上げ受給）も認められています。この場合、年金額は減額（最大-24%）され、受給開始後はその減額率は生涯変わりません。このような繰下げ・繰上げの仕組みを活用することにより、老後の働き方や年金の受給開始時期の選択の幅が広がり、老後の生活設計に多様な選択肢が生まれるようになります。



QuizKnockと知る

年金授業



 厚生労働省

QuizKnock

QuizKnock

学校名

×

氏名

年

組

番



QuizKnockと知る年金授業



3 時間目

年金制度を考えてみよう

 厚生労働省

QuizKnock

厚生労働省

(3) 年金制度を考えてみよう

公的年金の仕組みや特徴を理解しよう！

1 公的年金の価値って？

公的年金^{こうてきねんきん}は広義の保険であり、「人生のリスク^{じんせい}」に対してみんなで支えあう仕組みです。公的年金に加入して保険料を納めていくことで、生涯^{しょうがい}にわたって安心を得ることが出来ます。日本の公的年金は、年金の**実質的な価値**^{じっしつてき かし}を維持するため、「**賦課方式**^{ふかほうしき}」を基本として運営されています。働く世代が納めた保険料は、そのときの年金受給者への支払い^{しはら}にあてられています。

2 物価変動^{ぶつかがへんどう}にも対応してるってホント？

仮に老後に備えて貯蓄^{ちよちく}をしても、将来、**インフレーション**^②や賃金の上昇などの**経済**^{けいざい}**状況**^{じょうきょう}の**変化**^{へんか}によって、貯蓄の価値が低下してしまう可能性があります。公的年金は物価変動にも対応して人々の生活を支えるために、その時々^{ちよちく}の経済状況に応じて給付額を調整しています。これによって、**実質的な価値**^{じっしつてき かし}が保障^{ほしょう}されます。

例 1975年→2020年

 牛乳 瓶1本
48円 → 133円 **2.8倍**

 あさり 100g
27円 → 125円 **4.6倍**

 国立大学授業料 1年
36,000円 → 559,388円 **15.5倍**

物の価格の変化を正確に予想するのは難しいんだね



※出典：総務省統計局「小売物価統計調査」

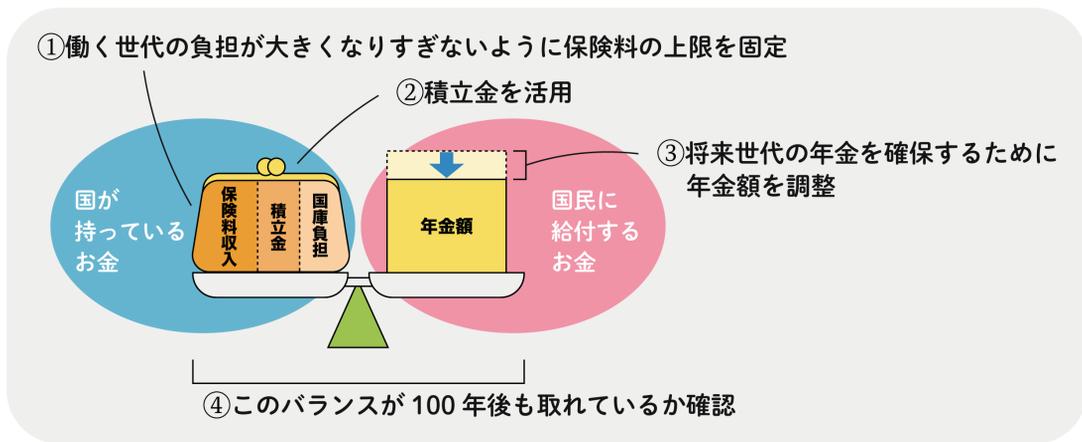
①物価…品物やサービスの価格。

②インフレーション…物価が上昇し続けること。

3 自分たちの世代は年金をもらえないの？

日本の年金制度には、将来にわたって制度を持続できるような仕組みがあります。

- ① **少子高齢化**が進行しても働く世代の負担が大きくならないよう、**保険料率の上限を固定**すると法律で定めています。
- ② 今より少子高齢化が進んだ将来のために、**年金積立金**も活用しています。
- ③ 財源の範囲内で給付費をまかなえるよう、年金額の価値を自動調整する仕組みを法律で定めています。（**マクロ経済スライド**）
- ④ 100年後も**給付と負担のバランス**が取れているかどうかを定期的に確認しています。（5年に1度の**財政検証**）

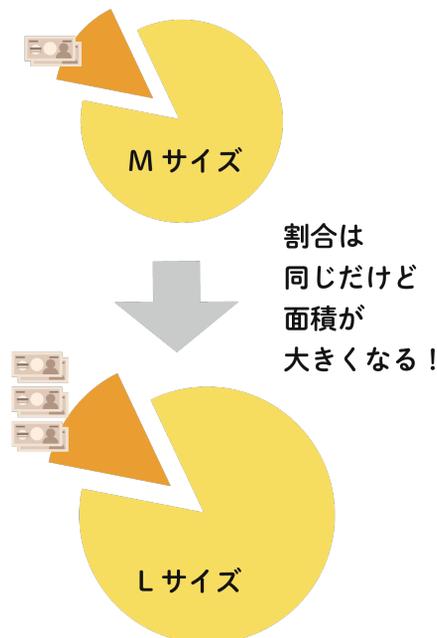


動画を見て、年金制度の持続可能性について学ぼう。

4 持続可能な年金制度とは？

公的年金によって支払われる年金額は、実質的な価値を保障するため、**経済状況に連動**しています。働く世代の**給与**が**上がる**と**保険料収入が増え**、景気がよいときは**積立金の利益も期待**できます。日本経済が大きくなると、公的年金の給付に使える金額も大きくなります。

例えば大きさの違うピザを同じ6等分にするのを考えたとき、MサイズよりLサイズのピザのほうがたくさん食べられるというイメージです。

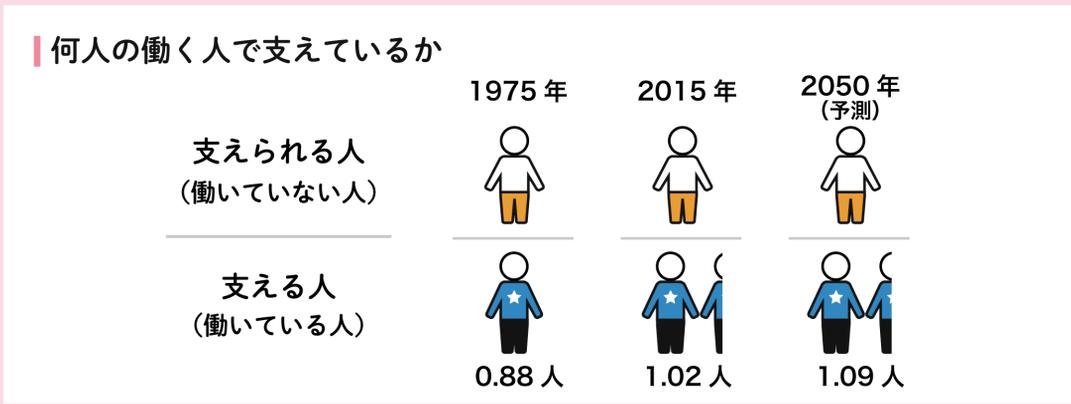


少子高齢化しょうしこうれいかに対応するためには、経済や社会への働きかけが重要になります。技術革新しゅつしんによって1人あたりの生産性せいさんせいが向上こうじょうしたり、健康寿命けんこうじゅみょう^④が延びて長く働くことができるようになることも、日本経済にほんけいざいの拡大かくだいにつながるのです。

コラム

少子高齢化社会という、若者の負担が大きくなる気がしませんか？

「支える人（働いている人）」と「支えられる人（働いていない人）」という視点で見ると、実は昔も将来も、1人を支える人数はそれほど変わらないのです。



5 持続可能な年金制度じぞくかのうねんきんせいどについて考えてみよう



動画を見て、年金制度について学んだことを振り返ろう。

長く働く人が増えれば、その人が受給できる年金額は増え、日本経済にほんけいざいが拡大かくだいすることにもつながります。さらに、日本経済が活性化すると、給付水準きゅうふすいじゅんがより良くなることも考えられます。公的年金制度を持続していくためには、子どもを産み育てやすい社会を目指すと同時に、日本経済をよりよくしていくことが大切だと考えられます。

ワーク ワーク 3-1 持続可能な年金制度について考えてみよう！

持続可能な年金制度のために、どのような取り組みが重要か、1つ書いてみましょう。

とっても難しいけど……知ること、考えることから始めてみよう！



③ 少子高齢化…人口全体に占める子供の割合が低下し、高齢者の割合が高まること。
④ 健康寿命…平均寿命から介護期間を差し引いたもの。健康で活動的に暮らせる期間。

QuizKnockと知る

年金授業



 厚生労働省

QuizKnock